

西河技術経営塾(代々木校)12期生募集

実践経営スクール

主催：一般財団法人アーネスト育成財団

企業と日本を元気にする実践的経営を学ぶ。
「技術経営学」を学び、強みを明確にした経営に取り組む。

西河技術経営塾での学びと成果

1. 売上を10倍にする西河技術経営学を学び、雇用を増やし、税金を払う。
2. お金は企業の血液であることを学ぶ。
3. 実践的思考、変革的思考を受講生参加型で育成する。
4. 日本的技術経営研究の成果に基づいた体系化されたカリキュラムで学ぶ。
5. 自社の経営課題を題材にし、明日から使える実践的な経営を学ぶ。
6. 誠実な経営人財を育成する。

● 講義概要

経営を支えている技術の存在を学ぶことで、未来を見据えた戦略的経営に取り組むことが出来るようになります。技術経営は、会社の未来を切り開く未来学です。

コトづくりでもモノづくりでも、エンジニアリングが経営を支えています。エンジニアリングは、経営を支える具現力であります。企業理念、ビジネスモデル、中長期計画、市場創出は、エンジニアリングと関わり合いを持つことで機能しています。講義と演習を通して、誠実な経営者を育成します。

1. 期間：令和6年(2024年)9月～令和7年(2025年)3月
2. 実施日：水曜日、原則毎週、24回開催(裏面に講座構成を示す)
3. 会場：財団内会議室(東京都渋谷区代々木1-57-2 ドルミ代々木704号)
4. 時間：(1)講義：午後6時00分～午後7時30分
(2)演習：午後7時40分～午後9時10分

経営人財を育成し、日本を元気にする

財団を作ろうと思ったのは「起業が少ない」、そのためには「経営ができる人財を育成しよう」「経営ができる人財を育成する機関が日本には見当たらない」という問題に気付いたからです。日本を元気にするには、質の高い経営人財を育成することです。収益をあげ、雇用を増やし、税金を沢山払える会社にすることです。収益を上げることが出来る技術経営人財の育成に取り組みます。

若い経営者達に、私どもの知見を少しでもお伝えし、それが日本全体の成長になればと取り組んでいます。経営学を学び、大きな会社を運営することができる人財になって頂きたいと思っています。

(西河洋一塾長・理事長)

● 開講日、講義名称と演習課題(代々木校)

西河技術経営塾(代々木校) 12期日程 (原則、水曜日)				V7R2	
No	月日(予定)	講義名称	講師	演習課題	
2024					
＜第1部 企業観＞					
1	9月4日	水	開講式：開講にあたって	西河	自己紹介と会社案内を提出し、説明する
2			(第1章) 技術経営とは何か	小平	塾で学びたいことを報告する
3	9月11日	水	(第2章) 企業文化とアイデンティティ	小平	自社の現状の問題と課題を報告するとともに、SWOTを作成する
＜第2部 ビジネスモデル＞					
4	9月18日	水	(第3章) ビジネスモデルづくり	小平	現状の経営理念、目標とする企業、自社の技術的強みを報告する
5	9月25日	水	(第4章) 企業財務入門	小平	自社のビジネスモデルを分析する
＜第3部 市場創出＞					
6	10月2日	水	(第5章) モノづくりとコトづくり	小平	自社の財務諸表を報告する
7	10月9日	水	(第6章) 中小企業のブランド構築戦略	小坂	自社の事業計画(売上、利益)を報告する
8	10月16日	水	(第7章) コスト HALF 戦略	小平	自社のブランド戦略を立案する
9	10月23日	水	(第8章) 新規の市場を創生する	松井	自社の原価低減、経費削減策を報告する
10	10月30日	水	(第9章) サービスビジネス	松井	自社の新規の市場創出戦略を立案する
11	11月6日	水	(第10章) イノベーション戦略	長谷川	自社のサービスビジネスについて報告する
12	11月13日	水	(第11章) 収益モデルに基づいた中長期戦略	小平	自社のノベーション戦略を立案する
＜第4部 中長期計画＞					
13	11月20日	水	(第12章) 中小企業のDX戦略	小平	自社の中長期戦略を立案する
14	11月27日	水	(第13章) 西河技術経営のルーツを学ぶ	西河	西河技術経営に関する質問を準備する
15	12月4日	水	(第14章) 西河洋一の経営哲学	西河	経営哲学に対する意見交換をする
16	12月11日	水	(第15章) エンジニアリング・ブランドづくり	小坂	自社のDX戦略を立案する
17	12月18日	水	(第16章) グローバル経営戦略	小平	自社または商品の広告を作成する
18	1月8日	水	(第17章) 財務諸表で企業実態の分析	小平	自社のエンジニアリング・ブランド戦略を立案する
19	1月15日	水	(第18章) プロジェクトマネジメント	小平	自社の経営実態を財務データで分析し、改善策を報告する
20	1月29日	水	(第19章) 中小企業のERP戦略	小平	自社のプロジェクト計画を立案する
2025					
＜第5部 コーポレートガバナンス＞					
21	2月5日	水	(第20章) 論文の書き方	小平	自社のERP戦略を立案する
22	2月12日	水	(第21章) 組織マネジメント	小平	研究報告書のテーマの設定
23	2月19日	水	(第22章) 人材育成と設備投資	小平	研究報告書のレビュー
24	3月5日	水	(第23章) 品質管理とコンプライアンス	長谷川	研究報告書のレビュー
25	3月12日	水	課題発表会：審査、修了式	塾生	

● 講師

講師：西河洋一(にしかわ よういち) 理事長・塾長、芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科(MOT)修了、一級建築士、(株)アーネストワン取締役。

司会・講師：小平和一朝(こだいら かずいちろう) 専務理事、芝浦工業大学大学院工学研究科博士(後期)修了(博士(学術))、(株)イー・ブランド21代表取締役、敬愛大学経済学部特別講師。

講師：長谷川一英(はせがわ かずひで) 研究員、(株)E&K Associates代表。東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了。芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科(MOT)修了。日本と米国の製薬企業に通算28年間勤務し、創薬研究、経営企画などを行う。

講師：松井美樹(まつい みき) 研究員、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科修了。元やる気スイッチグループ商品開発部長など。

講師 小坂哲平(こさか てっぺい) 評議員、芝浦工業大学工学部土木工学科卒、一級土木施工管理技士、一級建築施工管理技士、小坂建設(株)代表取締役。

● 西河技術経営塾(代々木校)12期生募集要領

(1) 募集期間：2024年5月～2024年8月29日

(2) 受講料：17万円(申込頂いたら、後日請求書をお送りします。宛先が会社の場合明記して下さい)

(3) 募集定員：最大7名(定員になり次第〆切となります)

(4) 応募資格：年齢28～50歳程度、仕事に従事

(5) 申込方法：氏名、年齢、性別、所属、役職、住所、電話番号、Eメールを明記して、Eメール(office@eufd.org)またはFAX(03-6276-2424)にて、申込みをお願いします。